



2024年9月9日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2024年秋季年末闘争 No.1

2022年度推進ニュース③⑥通算346号

発行責任者 小島 茂

建交労神奈川県本部第47回委員会を開催 第26定期大会の運動方針骨子などを確認

神奈川県本部は9月8日に県本部事務所の近くにある“かながわ労働プラザ”において第47回委員会を開催し第26回定期大会（10月6日に開催）に提案する運動方針骨子や代議員・役員定数、選挙管理委員会の設置・役員選挙の告示などについて決定しました。

委員会出席は定数20名に対し出席12名、委任4名、神奈川県南支部からの出席は定数5名中5名（佐藤、益山、河野、和泉、赤羽）、役員2名中1名（清野）でした。



開会挨拶する清野県本部副委員長

開会挨拶に立った清野副委員長は、自民党の総裁選をめぐる問題に触れて「誰が総裁・首相になっても変わらない、総選挙で政治を変えていきましょう」と呼びかけました。委員会議長は神奈川県南支部の佐藤委員が選出され議事を進行しました。

主催者挨拶を行った伊藤県本部委員長は【10月に発効する地域別最低賃金は、我々が求める額には遠いが中央審議会が示した50円の目安額を上回って答申した県が27に及び経営側



議長に選出された支部の佐藤委員

の大きな抵抗もなかったのはたかひの成果だ】と評価しました。また、8月31日～9月2日に群馬県安中市内のホテル磯部ガーデンで開催された建交労第26回定期大会について【建交労は組織の減少が止まっていないが神奈川ダンプ支部は組織拡大の努力賞を受けた。県本部全体では大きな成果はないが、川崎の学童保育の仲間が困難な活動のなかで拡大1名を実現し、鉄道本部はホームページを立ち上げ相談者が増えるなかで新たに3名の組合員を獲得する成果を上げている】と報告しました。また、【ヤマト運輸の闘争は全労連・建交労中央を含めて本格化するが東京都労働委員会宛の団体署名は1,000以下では相手にされない。全組織で署名を強化して欲しい】と訴えました。さらに、【自民党には裏金問題での反省はまったくない。総選挙は年内にある。自民党の政治を変える政治闘争にも奮闘しよう】と呼びかけました。その後、資格審査兼議事運営委員長の鉄道本部佐々木委員による委員会出席状況と議運の報告・提案が承認され高橋書記長による議案の提案に移りました。

主催者挨拶をする伊藤県本部委員長



報告・提案する鉄道の佐々木委員



議案提案をする高橋県本部書記長

勢のなかで神奈川県本部が1年間で積み上げてきた賃金闘争はじめ県本部統一行動の推進、各部会での多様なとりくみ、組織強化・組合員拡大の到達点、ヤマト運輸の闘争、ダンプ支部組合員の不当逮捕撤回の闘争、メイシヨクアソシエイツの争議勝利和解などを報告すると同時に、自ら参加した原水爆禁止世界大会（広島）の状況についても報告しました。

24年度の運動方針で第一に掲げたのが組織建設・組



閉会挨拶をする小野執行委員

織拡大です。そのなかで、中央大会で岐阜県本部の山田代議員が発言した“アンケートの活用をきっかけにしたたかいで職場の他労組が解散し全員が建交労に加入した事例”も紹介しながら組織拡大と要求闘争の前進に向けてアンケート活動の徹底を強調しました。さらに各業種別闘争の強化と憲法と平和を守るたかいでは、来年6月に広島県で開催される

休憩後は質疑討論に移り、中央本部の大会に出席した神奈川ダンプ2名と事業団の仲間が大会の状況を報告。また、先日の台風10号の影響についてダンプ部会の仲間が報告、発言の最後には鉄道本部の佐々木委員がホームページの活用や対話を通じて3名の組合員を迎え入れた経過を報告するとともに

今後の運動への決意を表明しました。発言に対するまとめを高橋書記長が行い、採決では満場一致ですべての議案が採択されました。その後選挙管理委員長に選出された鉄道本部の原田委員が役員選挙の告示を行い、鉄道本部の小野執行委員による閉会挨拶とダンプ部会の稲川執行委員の発声による団結ガンバローの三唱で第47回委員会を閉会しました。

高橋書記長は、冒頭で自ら参加した建交労第26回定期大会が建交労結成25周年の節目を迎えたこと、8年間に渡り委員長を務めた角田季代子委員長が退任して、新委員長には足立浩（ゆたか）全国トラック部会部会長が選出されたことなどを簡潔に報告しました。

続いて2024年度の神奈川県本部運動方針骨子（案）の提案に移り、止まらない物価高騰や実質賃金の低下、社会保障の相次ぐ改悪、インボイス制度の強行、さらに戦争する国づくりの大軍拡と憲法9条破壊など厳しい情



役選の報告する鉄道本部の原田委員

織拡大です。そのなかで、中央大会で岐阜県本部の山田代議員が発言した“アンケートの活用をきっかけにしたたかいで職場の他労組が解散し全員が建交労に加入した事例”も紹介しながら組織拡大と要求闘争の前進に向けてアンケート活動の徹底を強調しました。さらに各業種別闘争の強化と憲法と平和を守るたかいでは、来年6月に広島県で開催される建交労フェスタとも結びつけて平和運動の強化を呼びかけま



稲川執行委員の発声で団結ガンバロー

9月1日にJR川崎駅前で宣伝行動を実施



神奈川県南支部は9月1日に開催した執行委員会に先立って恒例のJR川崎駅前での街頭宣伝を実施しました。参加者は小島委員長、金崎書記長、佐藤執行委員、赤羽特執の4名でした。当日は台風10号の影響も心配されましたが、幸い風雨に見舞われることなく無事行動をやり切りました。

前回8月26日付の推進ニュース㊼で、関東トラック協議会の座長を矢島誠也さんと紹介しましたが、正しくは、矢島聖也さんの過ちでした。お詫びて訂正いたします。

2024年1月11日

建交労県本部委員長 殿

建交労支部委員長 殿

全日本建設交運一般労働組合(建交労)

中央執行委員長 角田 肇



「令和6年能登半島地震」被災者支援カンパのよびかけ

全国で奮闘されている建交労のみなさんに呼びかけます。

本年1月1日の夕方4時過ぎに発生した令和6年能登半島地震（能登半島地震）は、M7.6・最大震度7を記録しました。地震発生直後には能登方面の日本海沿岸部で津波が襲いかかり、家屋などが水没し、人的被害を与えました。

石川県では死者202人、安否不明者323人、県内避難所約400ヶ所には約26,000人が身を寄せています。（1月9日現在）その内、珠洲市内、能登町、七尾市に居住する建交労石川県本部に結集する北陸ダンプ支部（1名）、北信越労職支部石川分会（41人）が家屋の全壊、半壊、一部損壊などの被害を受けています。石川分会の組合員1人が亡くなっています。石川県本部の石田直道委員長は分会員たちの状況把握の為に5日から現地入りをしています。

建交労は、被災された仲間と住民の皆さんに心からお見舞い申し上げるとともに今後できる限りの支援をしていくことにします。

1月5日石川県労連内に「支援対策本部」を設置し、全労連は1月10日に「令和6年能登半島地震・対策支援募金」のとりくみを開始しました。今後現地の状況を掌握したうえで、支援物資の搬入やボランティア派遣など具体的な支援活動を全国的にすすめる方針を確認しました。

建交労は、全労連の確認・提起を受けて「能登半島地震」被災者支援カンパのとりくみを10日に開催した常任執行委員会で確認し、全国の仲間に協力を呼びかけます。各組織の積極的な対応をお願いします。

集約した救援カンパは、以下の金融機関の口座に振り込んでください。

お手数ですが、振り込みした組織は必ず、メールかFAXで別紙用紙にて随時お知らせ下さい。

以上

【振り込み先】

中央労働金庫新宿支店（普通）3731711

（名義）建交労中央本部

* 【郵便振替】

（口座番号）00180-3-25195

（名義）建交労

振込用紙に「震災カンパ」と記入してください

上記へ支援カンパを振り込んだ分会・班及び組合員は神奈川県南支部にご報告ください。